

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)											
アナライズ4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	恒枝賢治			実務経験	有	職種	ミュージシャン・ギタリスト・レコーディングエンジニア				
授業概要											
アナライズ1～3で学習した内容、さらに実際の音楽制作に直結した内容を扱う。レコーディングではマイクのセッティングや機材の取り扱い方、プレイヤーに気持ちよく演奏してもらうためのディレクションのノウハウなどを学習していく。作業効率を高めるため、オリジナルのテンプレートを利用した作業の時間短縮、2ミックスやステムミックス、演奏同期用音源の作成等がスムーズに行えるサウンドルーティングを作成していく。											
到達目標											
様々なエフェクトを駆使して既存曲レベルに近づくための方法を取得することを目標にしている。クオリティ向上のため、自身が作成した曲にギターやボーカルといったプレイヤーの演奏を録音する必要性もあり、外部に楽曲データを渡す際のデータの取りまとめも重要になる。前期の内容をさらに実用的に活用できるスキルを身につける。											
授業方法											
授業で使う教材を配布した後、講師の説明と実演を見てから、各自か自分のMacで作業をする。各々の作業終了後に理解度をチェックするため成果物を提出する。またヘッドホンや変換端子などは各自用意すること。											
成績評価方法											
試験70%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表10%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
ステップアップ方式の授業展開のため、欠席した場合は資料やデータを受け取り、次回までに補講することが必要になる。また、提出課題は自宅、または放課後解放などを利用して提出しなければならない。4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
ProTools101、配布プリント／PDF											
回数	授業計画										
第1回	配信におけるラウドネス管理の重要性について。										
第2回	フリーズ、コミット、Busを設定したピンポン録音のそれぞれのメリット、デメリットを理解し、活用できる。										
第3回	サチュレーションやアナログシミュレーションによる効果とメリット										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)	
アナライズ4	
第4回	プレイリスト機能を使用し、編集バージョンの管理を行う。また、最適なクリップをコンピングしOKテイクを作成する。
第5回	ミキシング練習①理想的なルーティングを作成し、ミックスを行うための整理を行う。
第6回	フィルター系、ダイナミクス系（リニアフェーズEQ、マルチバンドコンプ、ダイナミックEQ等）の各種エフェクトの効果的な使用法を理解する。
第7回	ミキシング練習②グループ設定や空間系エフェクトを用意しながら、各トラックの調整を行う。
第8回	ミキシング練習③グループ設定や空間系エフェクトを用意しながら、各トラックの調整を行う。
第9回	ミキシング練習④グループ設定や空間系エフェクトを用意しながら、各トラックの調整を行う。
第10回	ミキシング練習⑤グループ設定や空間系エフェクトを用意しながら、各トラックの調整を行う。
第11回	VCAフェーダーとグループを利用し、オートメーションのブレイクポイントの作成や様々な操作法を理解する。
第12回	ミキシング練習⑥各トラックのバランス調整を行い、楽曲を書き出す。
第13回	ファイルの受け渡し、セッションのバックアップと不要なファイル削除
第14回	後期まとめ
第15回	後期試験